

数学的な考え方のよさを味わう算数科指導の工夫  
- 考え方を整理する振り返り活動を通して -

長期研修員 吉原 和子

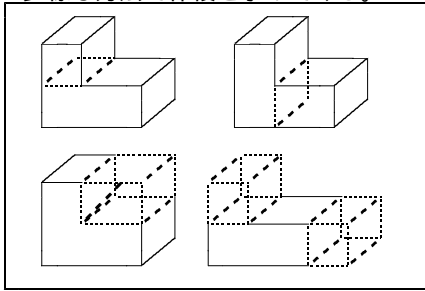
指導・評価計画(全13時間)

過程	時間	ねらい 数学的な考え方 ・主な活動	・支援及び指導上の留意点	評価項目(評価方法) 「十分満足できる」と判断される状況 「努力を要する」児童への手だて
つかむ見通し	1	<p>立体のかさ比べの方法を、既習事項と結び付けて予想をもち、問題解決に意欲的に取り組むことができる。 かさ比べの方法に使われている直接比較・間接比較(操作の考え)や単位の考えに気付く。 &lt;操作の考え・単位の考え&gt;</p> <p>・「長さ」「かさ」「広さ」比べをした時のことを思い出し、どんな方法(考え方)で比べたかを付せんに書き出して発表し合う。</p> <p><b>かさ比べの方法を予想しよう</b></p> <p>・「考え方整理プリント」に付せんをはりながら、どんな方法でかさ比べができるか予想を書く。 ・自分が考えた方法を発表する。</p> <p><b>予想をもとに自分が考えた方法で実際にかさ比べをしよう</b></p> <p>・予想をもとに自分が考えた方法でかさ比べをする。 ・自分がどのように問題解決をしたのかをプリントに書く。</p>	<p>・大きさの異なる三つの直方体と立方体(ただでさえ大きさが比べられる物と比べられない物、長さを工夫、材質は同じ)を提示し、「かさが一番大きいのはどれでしょう」と問う</p> <p>図1 問題の立体</p>  <p>・既習の事象を提示して、かさ比べについての生活経験や学習経験が想起できるようにする。 ・児童から出なかった方法については教師の方から提示する。 ・「考え方整理プリント」を使って付せんに書き出した考え方と結び付けて予想が書けるようにする。 ・既習のどんな考えをもとに考えた方法なのかを明確にする。 ・机間指導で児童の活動やプリントへの書き込みを見取り支援する。また、全員の考えが取り上げられるようにする。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 既習の量の比較の方法を想起し三つのかさを比較する方法を考え、一つの方法で比べている。(活動の様子・考え方整理プリント)</p> <p>既習の量の比較の方法を想起しそれらと結び付けながら、三つの立体のかさ比べの多様な方法を考え、二つ以上の方法で比べている。</p> <p>「長さ比べ」「広さ比べ」「かさ比べ」など具体的な場面を示し、その際どんな大きさ比べをしたのかを想起できるように助言する。</p> <p>友達の発表を聞いて、かさ比べをする方法に気付けるようにする。</p>
	1	<p>・自分の活動や結果を発表する。</p> <p>・発表された結果や活動について、気付いたことや感じたことを発表し合う。</p> <p>・発表された方法を比較、分類する。</p>	<p>・活動の過程を詳しく説明できるように、十分でない部分は説明を補ったり発問したりする。 ・それぞれの方法が、既習のどんな考えと結びついているのかを明確にする。 ・発表された方法を話し合いを通して比較分類し、「直接比べたり、違う物に置き換えて比べたり、いくつ分で比べたりすることで、立体のかさ比べができる」ことを確認する。</p>	
追究する	3	<p>体積は <math>1\text{cm}^3</math> の立方体を単位として、その幾つ分で表すことができることを理解する。 体積は <math>1\text{cm}^3</math> の立方体を単位の大きさとして、そのいくつ分で数値化して求めればよいことに気付く。 &lt;単位の考え&gt;</p> <p><b>2つの立体のかさはどちらがどのくらい大きいのか比べてみよう</b></p> <p>・前時の学習との関連を考えながら「考え方整理プリント」に解決する方法の予想をする。 ・予想をもとに解決をする。 ・自分がどのように問題解決をしたのかをプリントにまとめて発表する。 ・発表された活動や結果について気付いたことや、それぞれの解決に使われている考え方について話し合う。 ・話し合いを通して、似ている考えを結び付けたり比較したりして、考え方を整理する。 ・どんな考え方を使うとかさを正確に表すことができるか話し合い、分かりやすい言葉でまとめる。</p>	<p>・本時の学習問題「2つの立体のかさはどちらがどのくらい大きいのかを比べてみよう」を提示し、前時との違いを意識できるようにする。</p> <p>図2 問題の立体</p>  <p>・「考え方整理プリント」を使って、前時の学習のどの方法や考えを使って本時の学習問題は解決できそうかという予想がもてるようにする。 ・机間指導では、児童の活動やプリントへの書き込みから考えを見取り支援するとともに、発表に生かせるようにする。 ・使われている考え方に目が向くように、考えた根拠や既習の方法との関連を問うような発問をする。 ・児童の話し合いを通して考え方を整理してまとめていくようにする。 ・「あるもののいくつ分」「あるものを何にしたらよいか」を中心に話し合</p>	<p>【数学的な考え方】 既習の量の測定と同じように、体積も単位の大きさのいくつ分で数値化して求めればよいことに気付いている。(考え方整理プリント・話し合いの様子)</p> <p>面積の基本の単位が1辺が1cmの正方形であったことから類推して、いつでも共通して数値化できる単位として1辺が1cmの立方体を考えている。 「どれくらいを表すにはどうすればよいか」助言することで、数値化する方法について考えられるようにする。</p> <p>【知識・理解】 「体積」の用語や単位「<math>1\text{cm}^3</math>」を理解している。 (発言・活動の様子) 長さや面積の単位と関連づけて「体積」の用語や単位「<math>1\text{cm}^3</math>」を理解している。 「体積」をかさと結び付けて説明したり、<math>1\text{cm}^3</math>の立方体を見た</p>

追究する	<p>・「体積」「<math>1\text{cm}^3</math>」という用語を知る。</p> <p>・体積は、<math>1\text{cm}^3</math>の個数で表せることを知る。</p>	<p>えるようにする。</p> <p>・児童の話し合いの中で出された言葉でまとめていくようにするが、「単位の考え」という言葉でまとめることができるように示唆する。</p>	<p>りしながら単位が理解できるようにする。</p>
見通し	<p>4</p> <p>立方体や直方体の体積を計算で求める方法を考え、公式にまとめることができる。</p> <p>単位となる大きさをもとにして、直方体や立方体の体積の求め方や公式を考える。</p> <p>&lt;公式の考え&gt;</p> <p><b>直方体の体積を求めてみよう</b></p> <p>・直方体の体積を求める方法を予想し、「考え方整理プリント」に書く。</p> <p>・実際に体積を求め、どのように考えたのかをプリントにまとめて発表する。</p> <p>・自分がどのような考え方で体積を求めたのかを、簡単な言葉で書き出し発表し合う。</p> <p>・話し合いを通して、似ている考えを結び付けたり比較したりして、考え方を整理する。</p> <p>2</p> <p>・どんな考え方を使うと体積が求められるか話し合い、分かりやすい言葉でまとめる。</p> <p>・直方体の体積を求める公式をまとめる</p> <p>・正方形の面積の公式から類推して、立方体の体積を求める公式をまとめる。</p> <p>・いろいろな直方体や立方体の体積を、公式を用いて求める。</p>	<p>・「体積」の意味を確認する。</p> <p>・工作用紙で作った直方体を提示し、「実際に体積を求めてみよう」という学習問題を提示する。児童にも工作用紙で作った直方体を配る。</p>  <p>・立方体をとらえにくい児童には<math>1\text{cm}^3</math>の積み木を積んでみたり、1段ごとに分かれるような直方体を用いたりして考えられるようにする。</p> <p>・自分なりの解決ができた児童には、別の直方体でも同じ考えが使えるか試してみるようにする。</p> <p>・使われた考え方をどう表現したらよいか分からない場合は「1段目の数を出してそれが何段あるか考えた」などの例を示す。</p> <p>・話し合いを通して、考え方の共通点を意識して整理し、縦、横、高さの辺の長さに置き換えて計算で求められることに気付けるようにする。</p> <p>・「公式の考え」などの言葉でまとめられるようにする。</p> <p>・立方体の体積の公式は、児童の言葉でまとめられるようにする。</p> <p>・公式を用いて体積が求められる問題を用意する。</p>	<p><b>【数学的な考え方】</b></p> <p>直方体や立方体の体積を具体的な数値で求め、関数関係にある縦、横、高さを測って求められることから、公式が導き出されることに気付いている。</p> <p>(考え方整理プリント・話し合いの様子)</p> <p>直方体や立方体の体積は、関数関係にある縦、横、高さを測って求められることを単位の考えをもとに説明し、公式を導き出している。</p> <p><math>1\text{cm}^3</math>の積み木を積んだり、1段ごとに分かれるような直方体を用いたりして、体積を計算で求める方法が考えられるようにする。</p> <p><b>【表現・処理】</b></p> <p>公式を用いて直方体や立方体の体積を求めることができる。</p> <p>(学習プリント)</p> <p>展開図から体積を求めたり、直方体や立方体のものを見つけて実際に長さを測って体積を求めたりすることができる。</p> <p><math>1\text{cm}^3</math>のマスキングテープがある見取り図を用いて、<math>1\text{cm}^3</math>の立方体の個数と縦・横・高さの長さを結び付けながら体積が求められるようにする。</p>
見通し	<p>5</p> <p>大きな立体の体積を表すには、<math>1\text{m}^3</math>を用いるとよいことを知るとともに、その大きさを実感する。</p> <p>大きなものの体積を求めるときも、単位の考えを用いて、1辺が<math>1\text{m}</math>の立方体のいくつ分で表すことができることに気付く。</p> <p>&lt;単位の考え・公式の考え&gt;</p> <p><b>大きな立体の体積を求めてみよう</b></p> <p>・問題のプールに入る水の体積を求める方法を予想する。</p> <p>・実際に体積を求め、どのように考えたのかをプリントにまとめて発表する。</p> <p>・発表された結果について気付いたことを発表し合い、使われている考え方と結び付けて話し合う。</p> <p>・<math>1\text{m}^3</math>という単位を知る。</p> <p><b><math>1\text{m}^3</math>と<math>1\text{cm}^3</math>の関係を調べてみよう</b></p> <p>3</p> <p>・<math>1\text{m}^3</math>の実物大を見て、大きさを実感したり、<math>1\text{cm}^3</math>がいくつ入るかを考えたりする。</p> <p>・どんなときに「<math>\text{m}^3</math>」「<math>\text{cm}^3</math>」という単位を用いるのか考える。</p> <p><b>学習感想を書く</b></p> <p>・振り返る三つの視点に沿って学習感想を書く。「学習したこと、どんな考えを使ったか、その考えを使って問題解決したらどうだったか」</p>	<p>・「縦<math>12\text{m}</math>、横<math>25\text{m}</math>、高さ<math>2\text{m}</math>のプールに入る水の体積を求めてみよう」という学習問題を提示する。</p>  <p>・予想をするときは、追求する過程で整理した考え方を意識させるようにする。</p> <p>・話し合いの中で「単位の考え」や「公式の考え」にかかわる意見が出たときは、「単位の考えを使ったんだね」「公式の考えを使ったんだね」という言葉を加えることで、考え方の活用に気付けるようにする。</p> <p>・<math>1\text{m}^3</math>の立方体を提示し、「<math>1\text{m}^3</math>の立方体の中に<math>1\text{cm}^3</math>の立方体はいくつ入るだろう」という問題を提示する。</p> <p>・<math>1\text{m}^3 = 1000000\text{cm}^3</math>をまとめる。</p> <p>・学習感想を書くときは、「単位の考えをどんな問題に使ったの」「大きな単位を使うとどうだった」など具体的な言葉かけをする。</p> <p>・「よさ」について考えていることや既習学習と結び付けて考えていること発展的に考えていることなどを取り上げ、紹介して誉めるようにする。</p>	<p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <p>面積の大きな単位を想起し、単位の考えを用いて、体積でも大きな単位「<math>\text{m}^3</math>」を考えようとしている。(活動の様子・発言)</p> <p>大きな単位の必要性を感じ、どんな場合に<math>\text{m}^3</math>の単位を用いると便利かを考え、量感をとらえている。</p> <p>面積の大きな単位「<math>1\text{m}^2</math>」を実際に見て、体積でも<math>1\text{m}^3</math>をもとに大きな単位が考えられそうだという見通しがもてるようになる。</p> <p><b>【知識・理解】</b></p> <p><math>1\text{m}^3</math>と<math>1\text{cm}^3</math>の関係を理解している。</p> <p>(活動の様子・学習プリント)</p> <p><math>1\text{m}^3</math>の1辺の長さに着目し<math>1\text{cm}^3</math>との関係をとらえて、説明している。</p> <p><math>1\text{m}^3</math>の模型をもとに、立体の1辺に並ぶ<math>1\text{cm}^3</math>の立方体の数に着目することで、<math>1\text{m}^3</math>と<math>1\text{cm}^3</math>の関係がとらえられるようにする。</p>
深める	<p>6</p> <p>直方体や立方体が組み合わさった複合立体の体積をいろいろな考え方で求めることができる。</p> <p>複合立体の体積を既知のことに帰着して考えることができる。</p> <p>&lt;公式の考え・演繹的な考え&gt;</p> <p><b>直方体や立方体が組み合わさった立体の体積を求めよう</b></p> <p>・複合立体の体積を求める方法を予想し学習プリントに書く。</p>	<p>・工作用紙で作った複合立体を提示し「この立体の体積を求めよう」という学習問題を提示する。</p>  <p>・見取図の書かれた学習プリントと工作用紙で作った複合図形を用意する。</p> <p>・面積の学習と結び付けながら予想がもてるようにする。</p>	<p><b>【数学的な考え方】</b></p> <p>公式を用いて、複合立体の体積を求めるために学習した形に変えたり、必要な長さを考えたりしながら体積を求めている。</p> <p>(学習プリント・活動の様子)</p> <p>複合立体の体積の多様な求め方を、考え方の観点で分類整理したり、式の変形から統合してとらえたりしている。</p> <p>模型の複合図形を実際に分割し</p>

深  
め  
る

- ・予想をもとに実際に体積を求め、式だけでなく、どのように考えたのかをプリントにまとめる。
- ・多様な方法で体積を求めてみる。



- ・プリントをもとに発表する。
- ・それぞれの考え方を分かりやすい言葉にまとめる。

- ・必要な長さを学習プリントに記入しながら体積を求めるようにする。
- ・児童の発表を補うために、どこを切ったのか、移動させたのか、補ったのかを視覚的に分かるものを用意しておく。
- ・発表の中で、面積の学習からの類推、公式に表す考えを用いるために順序よく求めているなどを確認できるような声かけをする。
- ・それぞれの考え方をできるだけ分かりやすい言葉でまとめ、次の問題に生かせるようにする。

たり補ったりして長さを確認し既習の直方体や立方体に置き換えて体積を求める方法が考えられるようにする。

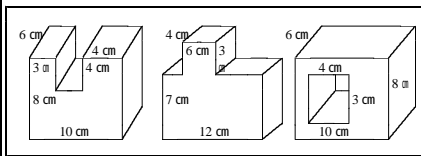
7

- ・いくつかの複合立体の体積を、いろいろな方法で求めながら、どんな立体のとき、どんな方法が便利なのか考える。
- ・提示された方法と問題を分類整理する考えを用いてまとめる。

**学習感想を書く**

- ・振り返る三つの視点に沿って学習感想を書く。「学習したこと、どんな考えを使ったか、その考えを使って問題解決したらどうだったか」

- ・「いろいろな立体の体積を求めよう」という学習問題を示す。



- ・「どんな考えを使ったら問題が解決したの?」「公式を活用するためにどう考えたことがよかったの?」など具体的な言葉かけをする。
- ・「よさ」について考えていることや既習学習と結び付けて考えていること発展的に考えていることなどを取り上げ、紹介して誉めるようにする。

**【関心・意欲・態度】**

学習した形に変える考えを用いて、いろいろな複合立体の体積を求めようとしている。  
(活動の様子・発言)  
複合図形の面積を多様な方法で求めたことを想起し、いろいろな複合立体も多様な方法で求めようとしている。  
複合図形の面積を求めた学習を具体的な図をもとに想起させ、複合立体の体積もその考えを使って求められそうだという見通しがもてるようにする。

8

辺の長さが小数の場合や、単位が違う場合の立体の体積を求めることができる。  
辺の長さが小数でも公式を用いて体積が求められることに気付く。  
<公式の考え>

**自分が持ってきた箱の体積を求めよう**

- ・学習問題に対する予想をもつ。
- ・必要な長さを測って、体積を求める。
- ・箱の体積をどのように求めたのかを発表し合う。
- ・解決を通しての自分の考えも発表する

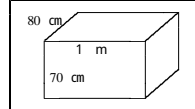
**単位がそろっていない直方体の体積を求めよう**

- ・公式を用いて「cm」や「m」で体積を求める。
- ・発表された結果について気付いたことを発表し使われている考え方と結び付けて話し合う。

**学習感想を書く**

- ・振り返る三つの視点に沿って学習感想を書く。「学習したこと、どんな考えを使ったか、その考えを使って問題解決したらどうだったか」

- ・事前に直方体や立方体の箱を準備するように話しておく。
- ・「自分が持ってきた箱の体積を求めよう」という学習問題を示す。
- ・辺の長さが分かれば「公式の考え」を使って解決できそうだという予想がもてるようにする。
- ・測定した長さの処理に困っている児童には、どうしたら公式が使えるのかを考えるように助言する。
- ・「公式の考え」を使うためにcmの単位にしたこと、小数になっても「公式の考え」が使えることをまとめる。
- ・「図のようなお風呂に入る水の体積を求めよう」という学習問題を提示する。



- ・話し合いの中で、問題解決に「単位の考え」や「公式の考え」がどのように使われているのかを具体的にに取り上げ、確認できるようにする。

- ・「よさ」について考えていることや既習学習と結び付けて考えていること発展的に考えていることなどを取り上げ、紹介して誉めるようにする。

**【表現・処理】**

辺の長さが小数や単位が違う場合でも、公式を適用して体積を求めることができる。  
(学習プリント)  
実際に長さを測りながら、いろいろな直方体の体積を、公式を使って進んで求めることができる。  
小数のかけ算が十分でない児童については、式が立ったら筆算の仕方を想起し、正しく答えが求められるように支援する。

見  
通  
し  
3

9

かさの単位である  $\text{cm}^3$  と、体積の単位である  $\text{cm}^3$  や  $\text{m}^3$  の相互関係を理解すると  $\text{cm}^3$  と  $\text{m}^3$  の関係と単位の考えをもとに、体積とかさの単位の相互関係を考えることができる。  
<単位の考え>

**かさの単位と体積の単位の関係について調べよう**

- ・  $1 \text{ m}^3 = 1000 \text{ m}^3$  の牛乳パックやペットボトルの体積を辺の長さを測定し、公式

- ・ 1 や 2、500ml のペットボトルや牛乳パックなどを提示し、「これらの体積はどのくらいだろう」という発問をする。
- ・ 児童の発言から「かさの単位と体積の単位の関係について調べよう」という学習問題を導くようにする。
- ・ 計算が複雑なときや計算の確かめは電卓を活用するようにする。
- ・ 解決方法や結果には「単位の考え」や

**【知識・理解】**

既習の単位の関係の理解をもとにして新しい単位の関係を理解している。  
(活動の様子・学習プリント)  
と  $\text{cm}^3$  と  $\text{m}^3$  の関係と単位の考えをもとに、単位とかさの単位の関係を説明している。  
1 まず  $1 \text{ m}^3$  に実際に  $1 \text{ cm}^3$  の立方体を並べてみることににより 1 辺に何個並ぶか確認しながら

深 め る		<p>から求めることで、かさの単位(、m)と体積の単位(cm<sup>3</sup>)の関係を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の解決方法や結果などを発表し合う。</li> <li>1 まずは1辺10cmの立方体であることから、1000m<sup>3</sup> = 1 = 1000cm<sup>3</sup>、つまり、1 m<sup>3</sup> = 1 cm<sup>3</sup>を確認する。</li> <li>1 m<sup>3</sup>と1 の関係を考える。</li> </ul> <p><b>学習感想を書く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>振り返る三つの視点に沿って学習感想を書く。「学習したこと、どんな考えを使ったか、その考えを使って問題解決したらどうだったか」</li> </ul>	<p>「公式の考え」が使われていることに気付くような言葉かけをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実際にペットボトルから 1000cm<sup>3</sup>の立体に中身をあけてみて、1000m<sup>3</sup> = 1000cm<sup>3</sup>が確認できるようにする。</li> </ul> <p>・ 単位の関係は単位換算を覚えるのではなく、「公式の考え」や「単位の考え」から導くことができるというよさに気付けるようにする。</p>	<p>単位の相互関係が理解できるようにする。</p>
	10	<p>直方体の高さ(縦、横)と体積の関係を理解する。 公式から高さ(縦、横)と体積の関係を帰納的に考えることができる。 &lt;公式の考え・帰納的な考え&gt;</p> <p><b>直方体の高さや体積の関係を調べてみよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どのように調べていこうかという予想を学習プリントに書く。</li> <li>調べた方法や調べて分かったこと、気付いたことを発表する。</li> <li>結果や分かったことを公式に表す考え方と結び付けて考える。</li> <li>直方体の縦、横と体積の関係を前の問題と比較し、結果や方法の予想をもちながら解決する。</li> </ul> <p><b>学習感想を書く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>振り返る三つの視点に沿って学習感想を書く。「学習したこと、どんな考えを使ったか、その考えを使って問題解決したらどうだったか」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>直方体の縦 5 cm横 3 cmは変えないで、高さを2倍、3倍...と変えると、体積はどのように変わるか調べてみよう」という学習問題を提示する。</li> <li>題意が十分に読み取れない児童のために、見取り図や模型を用意する。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>図や実物で考えた児童には、表に数値を入れながら確認するように助言する。</li> <li>それぞれの調べ方のよさについて、具体的に誉めるようにする。</li> </ul> <p>・ 具体的な言葉かけをすることで公式の考えを用いて問題解決したよさにかかわる感想が書けるようにする。</p> <p>・ 「よさ」について考えていることや既学習習と結び付けて考えていること発展的に考えていることなどを取り上げ、紹介して誉めるようにする。</p>	<p><b>【数学的な考え方】</b> 公式から、高さ(縦、横)が2倍3倍...になれば、体積も2倍、3倍...になることを、数値を代入したり図をかいたりして具体例をもとに考えている。 (活動の様子・学習プリント) 体積を求める公式を活用して、高さ(縦、横)と体積の関係を説明している。 高さ(縦、横)と体積が記入してある表を使って数値を代入したり、模型を見たりして関係に気付けるようにする。</p>
	11	<p>身のまわりにある立体の概形をとらえて、およその体積を求めることができる。 概形をとらえ、公式が用いられる直方体や立方体とみて、必要な長さを測り体積を求めるという概括的把握の考え方ができる。 &lt;公式の考え・概括的把握の考え&gt;</p> <p><b>身のまわりの物の体積を求めよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身のまわりの物から、体積を調べてみたい立体を決める。</li> <li>どのように体積を求めたらよいか予想する。</li> <li>何をどんな形としてとらえ、体積はいくつになったかを学習プリントにまとめる。</li> <li>およその形が直方体や立方体に見られない不定形の物(例...石、人など)の体積の求め方を考える。</li> <li>水の中に物を入れて増えた水の体積がその体積になることから不定形の物の体積を求める。</li> </ul> <p><b>学習感想を書く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>振り返る三つの視点に沿って学習感想を書く。「学習したこと、どんな考えを使ったか、その考えを使って問題解決したらどうだったか」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身のまわりにある立体の体積を求めよう」という学習問題を提示する。</li> <li>具体的に「本、ロッカー」のように例を挙げて、体積を求めてみようという意欲がもてるようにする。</li> </ul> <p>・ 面積の学習を想起し、およその形をとらえると体積が求められるという見通しがもてるようにする。</p> <p>・ どれもおよそ直方体や立方体、それらの複合立体と見て「公式の考え」が使えるように考えていることを確認する。</p> <p>・ 第1時の学習から、直接大きさ比べができないときは、違う物に置き換えて比べる方法があることや、日常生活経験をもとに考えるようにする。</p> <p>・ 体積の学習を通しての学習感想を書くようにする。</p> <p>・ 具体的な声かけをすることで、単位の考えや公式の考えを使って問題解決してきたよさにかかわる感想が書けるようにする。</p>	<p><b>【関心・意欲・態度】</b> およその形をとらえ、公式が活用できる形に変えて見ることで身のまわりにある立体の体積を求めようとしている。 (発言・活動の様子) 量感や概形など自在な見方や考え方から、身のまわりにある不定形の立体の体積を工夫して求めようとしている。 面積の学習を想起することで、立体も概形をとらえると体積が求められるという見通しがもてるようにし、どんな直方体と見ることができるかを一緒に考えるようにする。</p>
	12	学習内容の理解を深める。		
13	学習内容の確認をする。			